

陳情第128号	受理年月日	平成31年4月26日
付託委員会	総務財政委員会	
件名	核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出について	
要旨	<p>人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が国連会議で2017年7月7日、国連加盟国の3分の2（122カ国）の賛成で採択された。</p> <p>核兵器禁止条約は、その前文にヒバクシャの苦難を心にとめると盛り込み、加盟国に核兵器の開発、保有、実験、使用だけでなく、核兵器による威嚇行為も禁じている画期的なもので、核保有国が条約に参加する道もつくられている。</p> <p>速やかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを全ての国に求めるヒバクシャ国際署名には、日本の828市町村の首長が賛同し、本市の市長も賛同署名している。また、本市を初め世界の7,439都市が加盟する平和首長会議も、核兵器禁止条約の締結を求める取り組みを進めている。</p> <p>昨年の長崎平和宣言には、長崎の核兵器廃絶運動を長年けん引してきた2人の被爆者が、昨年、相次いで亡くなった。その1人の被爆者、谷口稜曄さんは、核兵器と人類は共存できないのです。こんな苦しみは、もう私たちだけでたくさんです。人間が人間として生きていくためには、地球上に1発たりとも核兵器を残してはなりませんと本当に切実な言葉を語っている。</p> <p>政府には、核兵器のない世界を目指してリーダーシップをとり、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡し役を務めると、自ら明言したとおりの行動が求められる。</p> <p>ついては、政府（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣）に対し、核兵器禁止条約の調印を求める意見書を提出していただきたい。</p>	
	記	

(続 く)

- 1 唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約を1日も早く署名、批准すること。
- 2 それまでの間は、オブザーバーとして締約国会議及び検討会議に参加すること。